

事例

資料

LGBT

- 4つの性：体、心、性的指向、社会の性
 - 生物学的な性、性自認、性の対象、性表現
- 様々な組み合わせがあり、単純ではない。多様な実態
- Lesbian(女性同性愛者)、Gay(男性同性愛者)、Bisexual(両性愛者)
 - Transgender(性別越境者)
 - FTM(体は女、心は男)、MTF(体は男、心は女)で心と体の性に違和感を持つ人
 - 性同一性障害：強い生きにくさを抱えている人

基本事項

- 外見や一般常識できめつけない
- 疎外感を抱かせない表現を
- 不快に思われない表現、態度を



- 好みや価値観の尊重
- フェアであること
- トップの姿勢が重要

[記事\(平成30年3月20日\)](#) LGBTにやさしい学校

[おすすめの図書\(教師・親用\)](#)

Niigata Univ.-Nagasawa Labo.

覚えておきたいこと

- 教師の姿勢
 - － 多様性を当たり前のことと受け入れる
- 学校としての対応
 - － 制服、トイレ・更衣室、体育
 - － 健康診断、宿泊学習
 - － まわりの子どもへの対応
- カミングアウト
- 絶対にしてはいけないこと

支援団体

- LGBT支援団体22選([Job Rainbow](#))
 - 支援団体の案内
- [LGBTの家族と友人をつなぐ会](#)
 - 家族、友人による会
- [虹色ダイバーシティ](#)
 - 働きやすい職場づくり
- [日本セクシャルマイノリティ協会](#)
 - 様々なサポート
 - 「にじの相談窓口」で相談できます



外国人児童生徒について

- 日本語指導が必要な児童生徒
 - 外国籍：約34,000人。日本国籍：約10,000人
- どんな母国語か？
 - ポルトガル語、中国語、フィリピン語
- 使用言語
 - フィリピン語、中国語、日本語
- 日本語担当指導教員が日本語の指導

日本語支援

- 国際教室や日本語指導教室
 - 支援員や通訳等の外部人材を活用
- 日本語指導を行う教員の加配
- 外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修
- 「JSLカリキュラム」小学校編及び中学校編
 - 「ようこそ日本の学校へ」、「にほんごをまなぼう1～3」

インターネットゲーム依存症

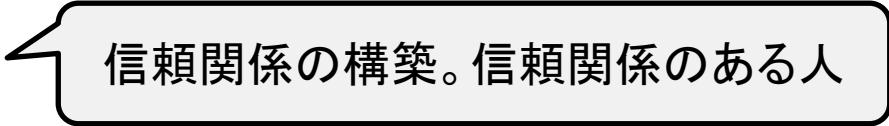
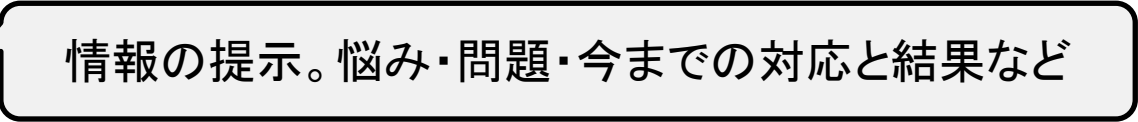
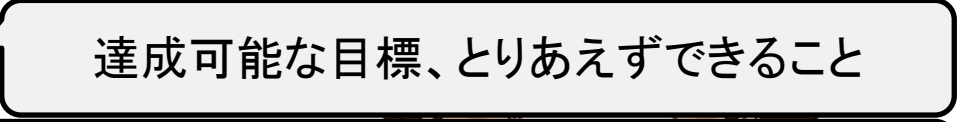
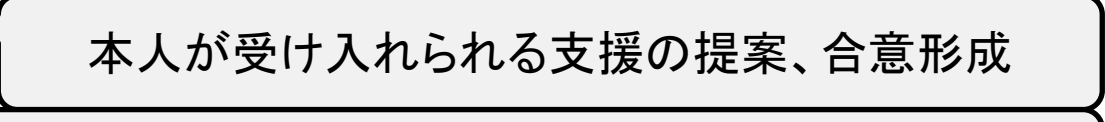
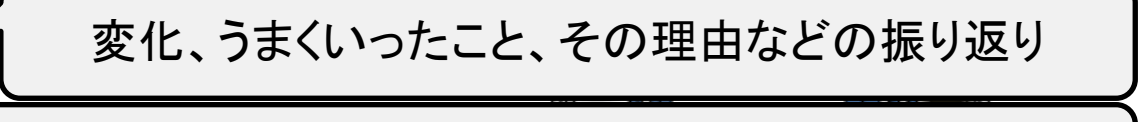
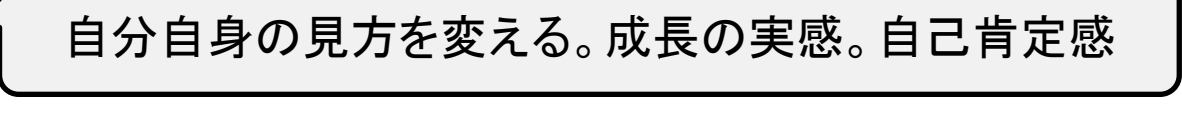
- 頻度：1.7%(8歳から10歳)。男＞女
- 症状
 - － ゲームをやめることができない
 - － 我慢ができない
 - － ゲームコントロールができない
- 予測因子
 - － 社会性(ソーシャルスキル)の未熟さ
 - － 感情のコントロール困難

自己解決から自己肯定感へ

1. 対話
2. 気づきを促す(問題意識)
3. 生徒の自覚(目標)
4. 実行の具体策(支援など)
5. 気づきを促す(変化)
6. 生徒の自覚(成長)



自己解決から自己肯定感へ

1. 対話  信頼関係の構築。信頼関係のある人
2. 気づきを促す  情報の提示。悩み・問題・今までの対応と結果など
3. 生徒の自覚(目標)  達成可能な目標、とりあえずできること
4. 実行の具体策  本人が受け入れられる支援の提案、合意形成
5. 気づきを促す  変化、うまくいったこと、その理由などの振り返り
6. 生徒の自覚  自分自身の見方を変える。成長の実感。自己肯定感

対話による「気づき」と「自覚」
主体的な学びによる「自己理解」と「自己肯定感」